

リアルタイムPCRセミナー

さらに良好なデータを出すためのポイントと
最新の遺伝子解析アプローチ

リアルタイムPCRで「さらに良好な」データを出すために見落としがちなRNA精製や微量発現の遺伝子解析におけるゲノムDNA混入問題の各種ポイントを紹介すると共に、内在性コントロール選択など遺伝子発現解析上での注意点やトラブルシュート含め、リアルタイムPCRを安心して活用できるような内容を紹介します。

また、新しい研究アプローチを可能にするデジタルPCRアプリケーションについても具体的な事例を含めてご紹介します。現在お使いの方やこれから実験を始めたい方にも最適な内容となりますので、この機会に是非参加ください。

日時

2019年6月21日（金）

パート1 【14:30-16:00】 リアルタイムPCR基礎原理から
サンプルハンドリングのポイントまで

パート2 【16:10-17:10】 StepOnePlusリアルタイムPCR装置 使用説明

会場

鹿児島大学 遺伝子実験施設（1F セミナー室）

内容

パート1 【14:30 - 16:00】

リアルタイムPCR基礎原理からサンプルハンドリングのポイント

- RNA抽出や逆転写などで見落としがちなポイント
- 内在性コントロール選択や $\Delta\Delta C_t$ 法による解析
- ばらつきの小さい分注操作や実験コツ
- 解析ソフトの注意点やトラブルシュート対処方法 など

パート2 【16:10 - 17:10】

ソフトウェアを用いたStepOnePlusの使用説明会

ご希望のパートのみの参加でも可能です。

適宜休憩と質疑応答を実施します。

演者

サーモフィッシャーサイエンティフィック
ライフテクノロジーズジャパン株式会社
テクニカルサポート担当 白神 博

